

# 畜産ネットワーク ちば



## 年頭のごあいさつ

社団法人 千葉県畜産協会  
会長 森 英介

新年明けましておめでとうございます。

皆様にはご健やかで輝かしい新年を迎えたこととお喜び申し上げます。

また、日ごろは当協会の事業推進にあたりご指導、ご支援、ご協力賜り心から感謝申し上げます。

昨年は当協会の前身である旧畜産会の創立50周年という大きな節目の年であり、2月に記念行事を開催したところ、お蔭様をもちまして盛会裡に終えることが出来ました。これもひとえに皆様方のご支援、ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。これを一つの通過点として、役職員一同気持ちを新たにして皆様方のご期待に応えるべく、より一層の努力をして参る所存ですので、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみると、一昨年から茨城県を中心に問題となっておりました鳥インフルエンザでは、鶏の淘汰を中心とした徹底した防疫措置が功を奏して、6月には終息宣言が出されました。関係者各位のご努力に敬意を表する次第です。しかし、11月末から隣国の韓国で、そして1月には宮崎県で発生の報告があり、改めて気を引き締め万全な防疫対応が求められています。

米国からの牛肉輸入では輸入再開直後の1月に、危険部位混入により輸入禁止という厳しい措置が取られました。

その後安全体確保のための現地調査や検査体制等の確認後、7月には再開され今後国内への影響が懸念されます。

## もくじ

- ・年頭のごあいさつ……………(1)
- ・肉豚価格補償事業に加入しませんか……………(2)
- ・ナイスパークチバ推進協議会 活動報告会開催
- ・「エコフィード」利用推進のための研修会開催……………(3)
- ・第44回畜産関係試験研究成果発表会のご案内……………(4)

2007年 1月25日  
第6号

発行所 (社) 千葉県畜産協会  
〒260-0026  
千葉市中央区千葉港4番3号  
千葉県畜産会館内

発行人 森 英介

WTO農業交渉では輸出国と輸入国の対立などで暗礁に乗り上げ先送りの状況にありますが、日豪FTA締結交渉開始に合意するとともにアセアン地域や南米地域との交渉も続いており、わが国農畜産物産業の国際化への圧力はますます大きくなっています。厳しい対応に迫られています。

一方、県内を見てみると、平成6年からその座を堅持してきました農業産出額全国第2位の座を、平成17年には第4位と大きな衝撃が走りました。早速、県を中心にわが協会はじめ関係団体等をも含めた協議会が設置され、その要因分析、具体的対応策等が検討されております。

私としても、「わが郷土・ちば」における地域再生の鍵は「農」と「食」と考えております。農林水産業を一層振興し全国に冠たる豊富な食材を活用し、房総半島を「食文化のメッカ」にしたいと考えております。

以上、畜産をめぐる課題の一端を述べましたが、今年も畜産経営にとり解決すべき課題は多く、当協会としては会員各位をはじめ関係各位と連携を強め、畜産経営への支援対策、経営資金対策はじめ畜産活性化対策、畜産物品質向上対策、家畜衛生向上対策等に積極的に取り組み、畜産の安定的成長に貢献してまいりたいと思っております。皆様のご期待に応えられるよう役職員一同決意を新たにして、本県の畜産振興のため一層努力して参る所存ですので、旧年に倍するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様方にとりまして実り多い年でありますよう祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

## じ

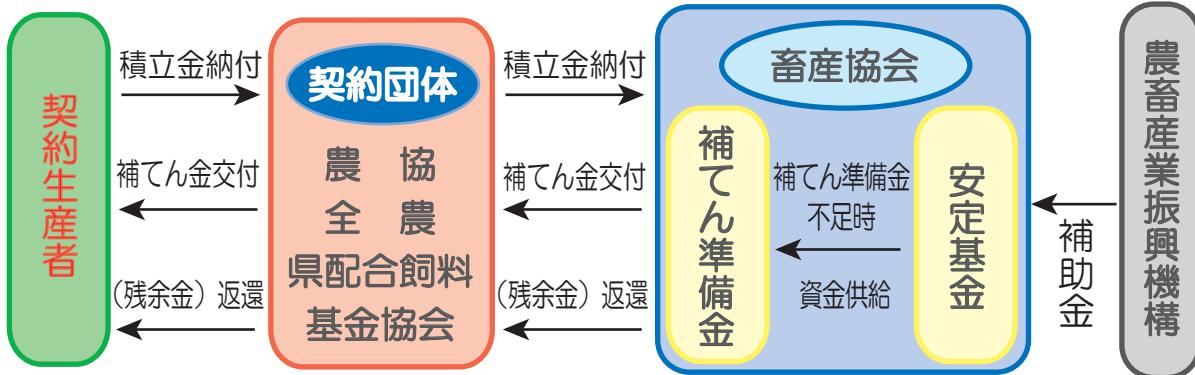
- ・平成18年度千葉県家畜保健衛生業績発表会開催
- ・優秀な受精卵で、和牛の繁殖を始めてみませんか……(5)
- ・畜産総合研究センター技術情報  
「飼料イネ栽培のポイント」……………(6)
- ・加工調理体験教室、千葉県畜産賞・三里塚特別競走開催
- ・編集後記……………(8)

## 養豚経営の安定のために 肉豚価格補償事業に加入しませんか

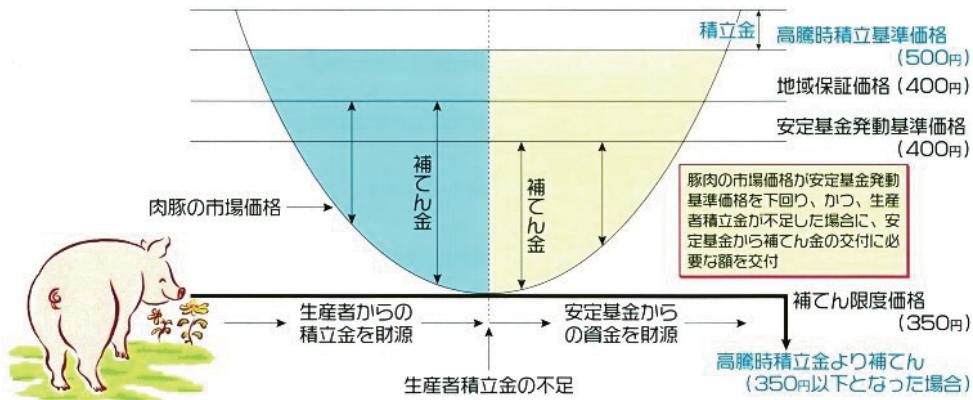
### 1 肉豚価格補償事業とは

肉豚の価格変動で受ける養豚農家の損失を補てんすることによって、豚肉の安定的供給と養豚経営の安定的発展に資することを目的としています。

### 2 事業の仕組み



### 3 補てんの仕組み



### 4 加入契約に必要な要件は

肉豚価格補償事業にご契約いただくためには、いくつかの要件があります。

- 契約の対象豚は、県内の生産者（法人）または県内に農場がある生産者（法人）が、肉生産のために肥育したものを作成とします。

**新●** 契約者は、「認定農業者」または「認定農業者に準ずる者として、千葉県知事が特例的に認めた者（知事特認）」であることが必要となります。（新業務対象年間（平成19～21年度）より）





平成18年12月5日(月)千葉市内京成ホテルミラマーレ「ローズルーム」において、ナイスポークチバ推進協議会(平野勇作会長)の(2006)活動報告会が、森畜産協会会長はじめ、笠生県議会議長、川島県農林水産部長など多数のご来賓のご出席を得て、参加者186名を集め盛大に開催されました。

この「活動報告会」は、会員、国・県関係機関、関係団体、県議会議員、消費者団体、報道関係者等が一同に会し、活動報告と情報交換を大きな目的として開催されますが、今回は活動報告に加え子供達向けに制作した食育推進のためのDVD「よ~いとん!」の披露も行われました。

来賓の方々と会員相互の交流は終始和やかな中での情報交換会となりました。DVDは好評でした

ナイスポークチバ推進協議会の活動を詳しく知りたい方は、NPC通信8号をご覧ください。

(養豚課 江ヶ崎)



平野会長より活動報告



DVDは好評でした

## エコフィード利用による生産コスト軽減を!!

### 千葉県養豚農家における食品残さ「エコフィード」利用推進のための研修会開催される

平成18年12月12日(火)旭市において「千葉県養豚農家における食品残さ『エコフィード』利用推進のための研修会」が(社)千葉県畜産協会と(社)配合飼料供給安定機構との共催で生産者、関係者75名の出席の下に開催されました。

現在、日本の生ごみの量は年間2,000万トンと言われており、25mプールに換算すると約5万杯分に相当しますが、その多くは焼却や埋立処分されている現状です。

日本は食糧の60%を輸入に頼っており、食品残さとして排出されるこれらは、ゴミではなく資源として有効に活用しなければならない状況にあります。

また、米国は世界のトウモロコシ総生産量の約40%、総輸出量の60%を占める世界最大のトウモロコシ生産・輸出国であり、日本における飼料用トウモロコシ輸入の90%は米国に依存しています。その米国で、原油の高騰及び地球温暖化等環境問題に対する関心が高まっている状況を背景に、大気汚染及び水質汚濁を減少させる手段としてトウモロコシを主原料とする燃料用エタノール生産・利用が米国の政策として進められ、その生産は加速しており、飼料価格の高騰に結びつくだけに影響が懸念されています。その打開策の一つとして食品残さによる飼料化「エコフィード」が考えられています。

研修会は「食品残さの飼料化と有効利用」、「飼料化に取り組む企業」、「残さを利用した肥育試験(発育・肉質)」等の紹介・報告が行われました。この研修会では、エコフィード(ご飯・低脂麺・パン)を給与した肥育試験により生産された豚肉の試食もあり、試食では一般の豚肉と比較しても遜色なく、むしろ美味しいとの評価もありました。

エコフィードを生産する(株)アグリガイアシステム(本社:八街市)では、平成19年春工場竣工により当面乾燥飼料としては80t/日の生産体制に入る計画です。千葉県内の生産者がこれらエコフィードを有効に活用されることを期待しています。



エコフィード給与豚の試食



飼料化への取組を報告

## 第44回畜産関係試験研究成果発表会のご案内

千葉県農林水産技術会議畜産部会では、試験研究の成果発表会を開催し、広く関係者の皆様に成果の内容をお知らせするとともに、皆様からの提言を今後の研究成果に反映させたいと考えています。

参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。開催日時、場所、課題名等は下記の通りです。

お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ち申し上げております。

### <酪農・肉牛部門>

日 時：平成19年1月30日（火）10時～16時

場 所：さんぶの森文化ホール（さんぶの森公園内）

山武市埴谷1904-5 (TEL 0475-80-9100)

○持続的な自給飼料生産のための施肥

○牛ふんの吸引通気式堆肥化とリン酸スクラバーおよび地域未利用資源による簡易脱臭法（図1）



図1  
脱臭装置

○食品残さを活用した安価な乳酸発酵飼料による肉用牛の低成本肥育（図2）



図2  
肥育試験の様子

○凍結胚移植の受胎率向上を目指した各種要因の検討（図3）

○Heatsynchを用いた乳用未経産牛群の繁殖管理

○深部腔内電気抵抗値の測定による牛の発情確認（図4）

○飼料イネサイレージと粕類を混合した発酵TMR飼料の泌乳牛への給与

○牛群検定成績から見た乳量階層別生産技術

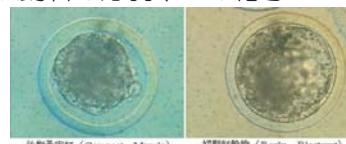


図3  
受精卵の様子  
図4  
電気抵抗値の測定

### <養鶏部門>

日 時：平成19年2月7日（水）10時～14時

場 所：成田国際文化会館

成田市土屋303 (TEL 0476-23-1331)



図5  
房総地どり

○有機酸製剤などが採卵鶏の生産性および排せつ物に及ぼす影響

○3種類の飼料添加物などの給与が鶏の産卵性に及ぼす影響

○コンビニエンスストア残さ添加飼料給与が房総地どりの発育・肉質に及ぼす影響（図5）



図6  
添加試験の様子  
図6  
クランブル加工飼料

○クランブル加工飼料の添加による採卵鶏の排泄ふん量低減化（図6）

○鳥インフルエンザと類似する鶏疾病の浸潤状況

○採卵鶏の銘柄別性能比較試験

\* 引き続き、鶏病研究会技術研修会が行われます。（次頁参照）

### <養豚部門>

日 時：平成19年2月16日（金）10時～13時30分

場 所：印旛農林振興センター

佐倉市鎌木仲田町8-1 (TEL 043-483-1128)

○DNAマーカーによる親子判定法の開発

○三元交雑豚WLDの止め雄の違いによる産肉性の比較

○「房総ポークC・EX」（肥育後期飼料）を給与した肥育豚の産肉性と肉質

○肥育豚におけるコンビニエンスストア残さの有効利用（図7）

○養豚農家における人工授精の実態と意識

○養豚場の環境及び疾病調査と衛生管理の改善

\* 引き続き、養豚大会が開催されます。（次頁参照）

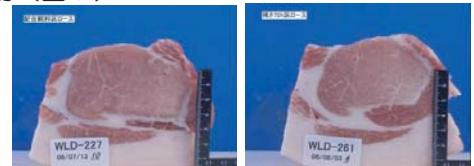


図7  
肥育結果  
(左が残さ70%給与区)  
(右が残さ0%給与区)

## 平成18年度千葉県家畜保健衛生業績発表会、開催される 2月9日に関東甲信越ブロック発表会(千葉)開催

平成18年12月19日(火)に、千葉県教育会館大ホールにて、平成18年度千葉県家畜保健衛生業績発表会が開催されました。家畜保健衛生業務に従事している県職員により、疾病による消耗防止対策及び環境対策等の使用管理の改善指導や、疾病の発生事例とその対策について、計18題の発表がありました。

また、発表演題の中から、平成19年2月9日(金)に開催される第48回関東甲信越ブロック家

畜保健衛生業績発表会において発表する3題が選出されました。演題名は「レーダーチャート成績表を活用した一養豚組合における環境・衛生指導の効果」「HPA1の発生を想定した処分鶏の一般廃棄物処理施設における焼却の検討」及び「牛ウイルス性下痢ウイルスの関与が疑われた豚コレラELISA陽性事例」です。今回の関東甲信越ブロック発表会は、千葉県教育会館大ホールにて開催されますので、多数ご出席くださいますようお願いいたします。

**鶏病研究会千葉県支部  
技術研修会のご案内**  
平成19年2月7日(水)  
14:10~16:00頃  
場所:成田国際文化会館小ホール  
演題  
(1)孵化直後の雛の栄養学の進歩  
(2)有機酸の利用と養鶏  
講師 物産バイオテック株式会社  
技術顧問 農学博士  
鈴木敏明 先生

**第22回千葉県種豚  
オークションのご案内**  
平成19年2月7日(水)  
共励会審査 9:00~  
オークション12:00~  
会場:JA全農ちば八街市場  
上場予定頭数100頭  
主催:社団法人 千葉県畜産協会  
共催:全国農業協同組合連合会  
千葉県本部

**平成18年度  
千葉県養豚大会のご案内**  
平成19年2月16日(金)  
13:30~16:30  
場所:印旛農林振興センター  
講演  
「実践・繁殖成績改善手法」  
一達成1母豚年間26頭肉豚出荷  
丸永株式会社  
養豚事業部長  
加地 肇 先生

### 県内の酪農家・肉牛農家の皆様へ 優秀な受精卵で、和牛の繁殖を始めてみませんか

千葉県肉牛生産農業協同組合では、平成18年度から県の助成を受けて、優秀な受精卵を用いた和牛繁殖牛の増頭事業を開始いたしました。

#### <受精卵の特徴>

○供卵牛は、県内トップクラスの遺伝能力をもっています。

供卵牛は、脂肪交雑(いわゆる「サシ」と枝肉重量(増体重)の育種価(遺伝能力)を県畜産総合研究センター生産技術部で算出し、県内トップクラスの遺伝能力を有するものを中心を選定します。

○供用精液は優秀な種雄牛のものを使用しています。

精液は、「平茂勝」や「福栄」「北国7の8」等、優秀な精液を使用します。

#### <受精卵の譲渡価格(新鮮卵・凍結卵とも)>

平茂勝(Aランク胚)の受精卵:4万円

平茂勝以外(Aランク胚)の受精卵:2万5千円(Bランク胚【新鮮卵移植のみ】はAランク胚の半額)

※当事業の受精卵を移植した場合、千葉県肉牛生産農業協同組合より1頭5千円の移植経費への助成金が受けられます。

#### <受精卵譲渡の対象者・条件>

○対象者は、酪農家、肉牛農家、初めて和牛を飼う方など和牛の繁殖を始めたい方はどなたでも対象となります。

○繁殖和牛を増頭拡大することが目的ですので、雌が生まれた場合は、育成して繁殖に供用していただけること。

○生まれた子牛は、原則として千葉県肉牛生産農業協同組合を通じて販売すること。

○千葉県肉牛生産農業協同組合員でない場合は、子牛登記までに組合員となることが必要です。

詳しいお問い合わせは

**千葉県肉牛生産農業協同組合**

まで

〒264-0021

千葉市若葉区若松町432-35

(千葉家畜市場内)

TEL:043-233-5657

FAX:043-233-0228

## 畜産総合研究センター技術情報

### 「飼料イネ栽培のポイント」

畜産総合研究センター生産環境部 飼料研究室  
室長 反町 裕

#### 1. 品種選定のポイント—収量と耐倒伏性

飼料イネは、地上部全てを収穫して牛に給与するため、子実生産量ではなく全体の乾物生産量、特にTDN（可消化養分総量）収量が高いことが重要です。また、多肥栽培を行う場合も多く、耐倒伏性に優れていることが収穫調製作業を円滑に進めるために必要です。

今迄は食用品種が飼料イネとして多く使われてきましたが、近年では飼料イネ専用品種の育成が進み、登録品種数も増加しています。また、専用品種は、食用品種に比べると乾物収量が1～2割程度高く、最近開発された専用品種では10a当たりの乾物収量が2tを超えるような品種も出てきています（前号表1参照）。耐倒伏性についても、食用品種の「コシヒカリ」が“極弱”なのに対して、専用品種ではほとんどが“やや強”以上と、専用品種が倒伏に強いことがわかります。

品種選定では、まず、専用品種の利用を第一に考えていきます。また、どちらの品種を用いるにしても、食用水稲の作業との競合や収穫調製作業等の一時集中のないように、早晚性を考慮した品種選定をすることが重要なポイントです。

#### 2. 栽培のポイント—水管理と農薬使用

飼料イネの栽培管理技術は、基本的には食用水稲とほとんど同じですが、黄熟期に収穫して茎葉ごと牛に給与するため、水管理や農薬の使用方法が食用水稲とは少し異なります。

飼料イネの収穫調製は専用収穫機や飼料作物用の大型機械等で行いますので、収穫時期までに土壤の地耐力を高めておく必要があります。そのため、中干しを強めにするとともに間断灌水を行って十分な地耐力を確保することが重要です。（図1）

黄熟期収穫のため、食用水稲より落水時期を早めることになります。周囲の水田が湛水状態だと落水の効果が十分に発揮されないおそれがあるので、飼料イネ作付圃場の団地化に努めることや晚生の専用品種を用いて落水時期を合わせることによって対応できます。雑草や病害虫防除のために使用する農薬についても、散布時期や回数が食用イネの栽培とは違ってきます。特に平成19年作からは、「ポジティブリスト制度」への対応のため、飼料イネ栽培での農薬使用は登録農薬のみに限定されるようになりましたので注意してください。なお、飼料イネ栽培での登録農薬については、農林振興センター等へお問い合わせください。

#### 3. 施肥のポイント—堆肥の有効利用

所得の確保と飼料自給率向上のために飼料イネの栽培では、乾物生産量を多くすることが求められています。そのために、食用水稲の栽培より肥料を多く施用する必要があります。

特に、飼料イネ専用品種は食用品種より収量性が高く、

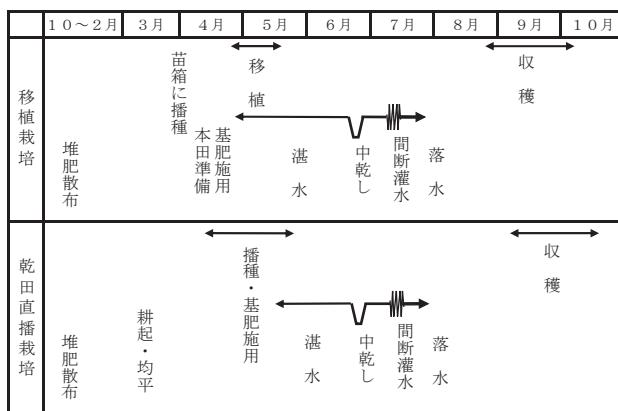


図1 飼料イネの栽培体系

表1 窒素の施用量と全乾物収量 (kg/10a)

窒素施肥	夢あおば	クサユタカ	クサホナミ	コシヒカリ
標 肥	1,450 (100)	1,499 (100)	1,610 (100)	1,396 (100)
多 肥	1,711 (118)	1,799 (120)	1,790 (111)	1,466 (105)
極多肥	1,827 (126)	1,934 (129)	2,020 (125)	1,550 (111)

（「稻発酵粗飼料 生産・給与技術マニュアル」より）

肥料の施用量が多くなるほど収量が増加するので(表2)、その能力を十分に生かすために多肥で栽培することが重要なポイントになります。

また、わらの鋤き込みによる圃場への有機物供給がなくなるため、堆肥等の有機物の施用が欠かせません。

図2に家畜の堆肥を連用した場合の飼料イネの乾物収量を示しました。堆肥を施用することで収量が多く得られること、化成肥料の施用量を減らしても標準量を施用した場合と同程度の収量が得られることがわかります。

堆肥からの窒素の供給は、施肥当年には少なく、残りは土壤に残存して次年度以降の窒素供給源になり、連用することにより次第に増大します。そのため、飼料イネの栽培圃場を固定して堆肥を連年施用して作付けすることが望ましいことです。飼料イネの後に食用水稻を作付けする場合には、堆肥の施用量を考慮した施肥設計と耐倒伏性のある品種の利用が必要です。

畜産農家と耕種農家が密接に連携して堆肥を有効利用することが飼料イネの安定多収・低コスト栽培のために必要です。

#### 4. 低成本、省力栽培技術

飼料イネ栽培では、転作作目であることや、所得確保のために、徹底的な省力化、低成本化に取り組むことが重要です。省力化技術としては、ロングマット苗移植、乾田直播等が検討されています。

慣行の移植作業に比べ、30a程度の圃場なら苗の補充なしに移植が行えること(ロングマット苗移植)や育苗作業が省略できる(乾田直播)ことにより省力化がなされます。

しかし、初期投資が必要なことや移植時期の設定(ロングマット苗移植)、初期生育の不安定や雑草害を受けやすい(乾田直播)等の問題もありますので、実施に当たっては地域の農林振興センター等に相談するとよいでしょう。

表2 苗作りハンドリング重量の比較

ロングマット体系2ロール/10a			中苗箱移植体系20箱/10a				
作業項目	ha当たり 重量	ハンドリ ング回数	ha当たり 総重量(kg)	作業項目	ha当たり 重量	ハンドリ ング回数	ha当たり 総重量(kg)
種子予措	40kg	2	80	種子予措	20kg	2	40
播種	40kg	1	40	播種	4.3kg × 200箱	1	860
ロール巻き取り	12kg × 20ロール	1	240	苗管理	4.3kg × 200箱	2	1,720
田植え	12kg × 20ロール	1	240	田植え	5.0kg × 200箱	1	1,000
計		5	600	計		6	3,620

(埼玉県農林総合研究センターの成果より)

#### 5. 旭市干潟地区での試験研究の取組み

飼料イネ栽培に関しては、中央農業総合研究センター・関東飼料イネチームが、専用品種を用いた堆肥連年施用によるロングマット苗移植栽培と乾田直播栽培に3年間取り組んできました。

地元農家の協力により、貴重なデータの蓄積はできましたが、コスト面、圃場状態、揚水時期や収穫時期の問題等から、今後は専用品種「夢あおば」での堆肥連年施用による移植栽培で実証していく予定です。

図2 堆肥連用と施肥法の違いによる  
黄熟期の乾物収量(2005 中央農研)

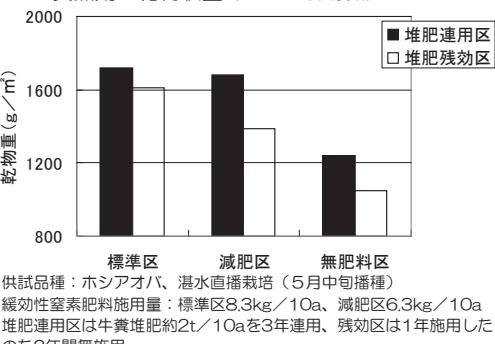


写真1 堆肥散布



写真2 ロングマット移植

## 畜産調理加工体験教室、開催される

平成18年12月12日(火)鋸南町公民館にて、地域畜産ふれあい体験交流事業の一環として加工調理体験教室が開かれました。

当日は約30名の参加者が集まり、鋸南町の食材をメインとした料理を実際に作っていただき、その後、講師の食材の栄養価等に関する説明を興味深く聞き、畜産物への理解をより深める良い機会となりました。

=当日のメニュー=

「鶏きものコチュジャン」  
「ささみのチーズ春巻」  
「ゆで鶏のゴマダレ」「菜の花御飯」  
「びわ牛乳羹」(経営支援課 宮上)



助手による実演



## 千葉県畜産賞・三里塚特別競走、開催される

平成18年11月17日(金)に、船橋競馬場にて、千葉県馬事畜産振興協議会による冠レース、平成18年度第8回船橋競馬第10レース千葉県畜産賞・三里塚特別競走(ダート1, 600m・10頭)が開催されました。

優勝は8枠10番のブックオブケルズ号、馬主ダーレー・ジャパン社に賞状及び副賞として若潮牛・房総ポークC・房総地鶏の千葉県産食肉セット(10万円相当)及び乳製品(千葉酪農協製)が授与されました。

また、騎手内田博幸氏、川島正行調教師及び厩務員に乳製品詰め合わせ(全酪製)及び乳製品(千葉酪農協製)がそれぞれ授与されました。

(経営支援課 武田)



三里塚特別表彰式の様子

## 編集後記

皆様方には気持ちを新たにして平成19年の新年を迎えられたことと拝察いたします。

今年の正月は大変穏やかな天候に恵まれてスタート致しましたが、今年一年が元旦の天候のように平穡無事な一年となり、自然災害もなく、世界中が安泰であることを願うものであります。

今年の干支は亥、十二支の締めくくりの年でもあり、今まで行ってきた全てを締めくくる年でもあるそうです。猪は田の神・作物の神・安産の神として祭られ、金運、財運をもたらしてくれると共に力の守護神でもあり、猪の肉は万病を防ぐと言われます。

この一年が皆様にとって力みなぎる元気な年でありますようお祈りいたしますと共に、当畜産協会が畜産農家にとっての守護神と成り得るよう日々努力してまいりたいと思います。

また、それらの情報提供手段の一つとしてご愛読いただけますよう編集員一丸となって取り組んでいくつもりですので、今後もご指導、ご支援、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。(養豚課 江ヶ崎 健一)

総務課	TEL 043-242-5417(代)	FAX 043-238-1255	info@chiba.lin.go.jp
経営支援課	TEL 043-242-8299	FAX 043-238-1255	
価格安定課	TEL 043-242-6333	FAX 043-238-1255	tb-koushi@pop21.odn.ne.jp
衛生指導課	TEL 043-241-1738	FAX 043-241-3853	chieishi@aioros.ocn.ne.jp
養豚課	TEL 043-241-3851	FAX 043-241-3853	